

週報 南相馬ロータリークラブ

第 44 回 通算 538 回

2019 年 6 月 11 日 (火) 16:00～17:00

福島県立相馬農業高等学校 IAC 認定伝達式

福島県立相馬農業高等学校 IAC 認証伝達式が、12 日 (火)、ウェディングパーク原町で開かれました。第 2530 地区で相馬農業高等学校は 21 番目の IAC 設立になります。当クラブからは会員 22 名、第 2530 地区平井義郎ガバナー、鈴木和夫地区幹事、青田由広相双分区ガバナー補佐、地区青少年奉仕委員会廣澤俊樹委員長、地区 IAC 委員会 大木和彦委員長、南相馬市長代理 教育委員会 大和田博之教育長の来賓 7 名 福島県立相馬農業高等学校 中野幹夫校長 IAC 顧問 3 名、IAC17 名が出席しました。

495th Program

司会 SAA 青木謙二 会員
大谷和年 会長

開会点鐘／国歌斉唱「君が代」／ロータリーソング「奉仕の理想」／インターアクトの歌／実行委員長挨拶／来賓紹介／提唱クラブ会長挨拶／福島県立相馬農業高等学校 IAC 結成認定状伝達／IAC メンバー紹介／誓いの言葉／来賓祝辞／備品贈呈／IAC 認定校校長挨拶／閉会点鐘



実行委員長 門馬純子会員が御礼を述べ、挨拶をしました。

「IAC 校として、相馬農業高校が相応しいとした理由としましては、まず、中野校長先生が、以前、IAC 校のご経験があり、ご理解が深かったことが、大きな力となりました。次に、相馬農業高校に、ボランティア部、並びに農業クラブがあり、相馬農業高校の生徒さんが、すでに地域に根ざしたボランティア活動や奉仕活動をされていることでした。そして、卒業後、約8割の方が地元に残り、就職されるということです。このことは、将来地元での活躍が期待でき、南相馬市を担ってくれる方々と思いました。

さらに相馬農業高校の生徒さんは、素直でニコニコと明るく、そして、前向きで元気があると感じました。そのような思いから、共に活動していけると確信いたしました。

将来を担ってくれる、相馬農業高校の生徒さんたちが、私たちロータリアンと共に活動する中で、地域社会の貢献を通じて、他人に対する思いやりと、そして、有能な職業人、品位ある社会人となり、地域社会と国、並びに世界の問題について知識を深める機会になれば、と思っています。

私たちロータリアンは、奉仕の理念で結ばれた様々な職業人がおります。有能な職業社会に奉仕する、と言われるます。職業の知識、そして、将来の社会人としてスキルアップに役立つ機会にしてください。私たちロータリアンは、地域発展のために後世に繋げられるよう、若者を担わなければならないと思っております。IAC 設立まで紆余曲折ありましたが、本日、相馬農業高校での IAC 設立に至ったことに対し、南相馬 RC 会員一同、大変嬉しく思っております。

結びとして、発足したばかりの相馬農業高校 IAC です。これから手探り状態で進むことになると思いますが、学校側との連携を密にしながら、IAC 活動に向け、共に手を携えていきたいと思っております。東日本大震災まで、学校法人松韻学園松栄高校 IAC の提唱クラブだった経験を活かし、会員一丸となって、相馬農業高校 IAC を支援していきたいと思っております。今後共、皆様のご支援をいただきながら進めてまいりますので、宜しくお願いします」



次に大谷和年会長が挨拶をしました。

「相馬農業高等学校インターアクトクラブの皆さんに、ロータリーからの結成認定状が発行されましたこと、誠におめでとうございます。

また提唱クラブとして大変うれしく思います。これにより相馬農業高等学校インターアクトクラブは、学校のクラブ活動というだけでなく、日本も含めて、全世界のインターアクトクラブの仲間入りをしたということです。

会員の皆さんはこれまで多くのボランティア活動を目にし、実際に活動してきた方もいることと思います。しかし、これからは、世界中にインターアクトの仲間たちがいます。今までのボランティア活動に加えて、より大きく視野を広げた活動をしていきましょう。我々南相馬ロータリアンは活動を通して皆さんを応援していきます。

「4つのテスト」は、ロータリアンが例会を行うにあたり、必ず全員で唱和する言葉です。この言葉の意味するところはたいへん大切です。4つのテストは我々ロータリアンが深く心に留め、行動の指針となるものです。また、同じくプログラムに載っております。

「インターアクトの目的・目標」に深く反映し、「インターアクトの歌」にあるように、誇りある活動としてたたえられています。皆さんは今、社会にはばたくため、学校に行き、勉強し、体を鍛え、友達や先生と話すことにより、知識と体力の向上、人と人とのつなが



りや、コミュニケーション能力を身に着けようとしています」

この人生において最も成長著しい時代に、インターアクトの目的・目標を考えてするボランティア活動、我々は奉仕活動とっておりますことを経験することは、皆さんのこれからの人生に大いにプラスとなることと思っております。我々会員一同皆さんと共に活動することを楽しみにしております」

誓いの言葉として、福島県立高等学校 IAC 久保田直樹会長が述べました。

「今日は、ありがとうございます。相馬農業高校ボランティア部として、これまでボランティア活動を実施してきました。これからは IAC として活動していくことになり、活動の幅が広がっていくことを感じます。私たちは、いろんな活動を通して、自分の良心を信じそれを形にしていきたいと思えます。わからないことも多く未熟な私たちですが、ご指導宜しくお願い致します」



3 名の方から祝辞をいただきました。

平井義郎ガバナーからの祝辞。

「ロータリーは、青少年の育成に力を入れています。IAC、RAC、RYLA、青少年交換の活動があります。青少年の皆さんがこれから次世代を担っていきます。青少年奉仕活動の目的は、最終的には世界平和です。地元でのボランティア活動や海外のインターアクト会員との交流を通じて視野を広げ、国際感覚を



養い、人の為に活躍しその喜びを分かち合ってください」

南相馬市長代理 教育長 大和田博之様からの祝辞。

「相馬農業高等学校 IAC が社会奉仕クラブとして南相馬 RC のご指導ご支援を賜りこれからさまざまな奉仕活動に取り組んでいかれることと思えます。奉仕活動の未来を切り開いていく皆さんが、こと地域の為に社会奉仕活動に取り組めることは、大変意味のあることであり心強く思っています。IAC の皆さんの活動が小中学生に対し、すばらしい影響をあたえ、それが市内全体に広がっていくことを期待します」

青少年奉仕委員会 廣澤俊樹委員長からの祝辞。

「ロータリーは、1905 年たった 4 人の男性から始まった奉仕活動です。



ロータリーという名は、各メンバーの職場を順番にまわってミーティング場所として使っていたことに由来します。ロータリーは全世界で約122万人、日本では約9万人、地区では約2200人です。地区では、IACは21校あります。青少年奉仕活動は、地域発展の分野の中に位置づけられています。若い人達に活動していただき、汗をかいてその汗を体にしみこませ、自分以外の誰かの為に活動して下さい。私達はそれを「超我の奉仕」といいます。ぜひ、ロータリー精神を持ち続けていって下さい」

最後に中野校長先生から挨拶をいただきました。

「本日は、私たちの為に認定式をありがとうございます。地域との貢献活動については、明治36年から実施しております。南相馬RCの会員の方々にも本校の卒業生がいらっしゃるということで声をかけていただき、生徒の成長の為にと思い受けさせていただきました。

生徒を主体に有効な活動になるよう、今後とも末永くよろしくお願いいたします」



出席報告 : 会員数 29名 出席数 22名 出席率 76%

南相馬ロータリークラブ Since. 2007

会長：大谷 和年 / 幹事：岡田義則

例会日：毎火曜日 12:30~13:30

例会場：ウエディングパーク 原町フローラ 南相馬市原町区高見町 2丁目 30-6

事務局：南相馬市原町区錦町 2丁目 68-6

TEL 0244-23-1268 FAX 0244-26-5935

HP <http://www.minamisoma-rc.org/> E-mail minamisomarc@white.plala.or.jp

